

アライナー矯正とは

近年、矯正用ブラケットやワイヤーを歯牙に固定装着し、術者主導のもと行う矯正治療とは異なり、術者及び患者による可撤式マウスピース型矯正装置「アライナー」を用いた治療法が普及しつつある。アライナー矯正とは、治療ゴールをあらかじめシミュレーションし、各患者用にカスタムメイドされた複数枚のアライナーを順次使用することで、歯に持続的な弱い矯正力を加えて歯牙移動を達成する治療法であり、広義の床矯正治療でもある。これまでも可撤式のマウスピース型矯正治療は行われてきているが、その多くは、歯科技工士によるハンドメイドのセットアップモデルに基づく診断及び装置の作製のため、手間もかかり、ともすればモデル作製時点で誤差も生じる可能性もある。

そこで近年、デジタルテクノロジーの目覚ましい発展にともない、現在までに研究された歯科矯正の原理を踏まえ、蓄積されたビッグデータの解析をもとにマウスピース型矯正治療専用のデジタルソフトウェアが開発されてきている。専用デジタルソフトウェアによって、ハンドメイドであった従来の工程をソフトウェア上で正確にシミュレーションすることが可能となり、歯の動く量が計算され、ビッグデータにより洗練されたコンピュータアルゴリズムによって歯は動くこととなる。口腔内スキャナーを使用すればモデルレス（印象操作・作業模型作製不要）でアライナーを作製することも可能である。治療装置が透明で可撤式であることは患者にとって大きな福音であり、矯正治療に対するさまざまなハードルが下がることとなる。またわれわれ術者にとっても恩恵となり得る。

アライナー矯正は、歯列不正の改善を目的とすることは元より、矯正治療に対する患者や術者の諸負担が軽減することで、修復・補綴治療の前処置としての選択肢も増え、理想とする治療ゴールのために、より包括的な治療を行える治療方法でもある。



デジタルソフトウェアによりシミュレーションされ作製される「アライナー」。透明で可撤式である装置は治療の選択肢を大きく広げる。



パッケージされたプロダクトは、術者および患者双方に親しみやすく、治療の導入から一連の過程を円滑に行いやすいものとなっている。